

■ 島根県公立大学法人評価委員会からの令和3年度業務実績に関する評価を受けての改善策

評価委員会からの「大学の教育研究等の質の向上」項目に対する評価の遅れている点(課題がある点)	島根県立大学の改善策
<p>○ 「授業アンケートの回答率や教員フィードバック提出率」「科学研究費助成事業への全学の申請率」について、改善は見られるものの、全体的には低く、特に教員フィードバック提出率はキャンパス間で大きな差があり、率の低いキャンパスでは改善に向けた取組が必要である。</p>	<p>○ 授業アンケートの回答率や教員フィードバック提出率の改善について</p> <p>(浜田キャンパス) 授業アンケートの回答率向上のため、FD委員会及び科目担当教員より、授業アンケート実施の周知や回答時間の確保などにより回答率向上に努める。教員フィードバックについては、FD委員会からは継続して提出依頼を行い、定期的に学部長やコース長と提出状況の共有を行い、教員フィードバックへの理解を求め提出を促していく。</p> <p>(松江キャンパス) 令和3年度の回収率は、人間文化学部が発足して以来最低を更新した。FD委員会及び科目担当教員より学期末におけるアンケート実施の声かけや授業最終日における回答時間の確保などによって回収率向上に努める。フィードバックが未提出の教員には、FD委員会から継続して提出依頼を行い、必要に応じて学科長に提出状況を共有する。</p> <p>○ 科学研究費助成事業への全学の申請率の向上について</p> <p>(全キャンパス) 以下の対策を実施し、科研費申請率向上への対策を図る。</p> <p>①説明会・研修会の実施 科研費公募要領学内説明会、採択実績のある教員による研修会の実施に加え、公立大学協会主催の科研費に関する研修会を全学の教職員へ周知する。</p> <p>②科研費申請書個別支援サービスの実施 次年度の科研費申請に向け、特に科研費申請回数・採択実績の少ない教員に対して外部リサーチ・アドミニストレーター(URA:研究マネジメント人材)による申請書個別支援サービスを行う。</p> <p>③科研費採択者分研究助成金の交付 科研費(新規・継続問わず)に採択された専任教員について直接経費の1割相当額を個人研究費に追加配分する。</p> <p>(松江キャンパス) 全キャンパスの対策に加え、前年度不採択だった教員へブラッシュアップした研究計画での再応募を促している。 また、教員個人評価制度を見直し、教育・研究等について 所属学科長・学部長と面談を実施する仕組みとした。これにより、教員の質の向上並びに教員の意識及び意欲の向上を図ることとしており、研究活動についても積極的な応募を勧め、申請率の向上に努めている。</p>